

後期では、重要度が低いと思われる項目について削除をするなど、評価項目の見直しを行いました。

後期は、プラス評価が 9 5 %を超える項目が前期に比べ 2 項目増えて 5 項目となりました。

「勉強が分かる」「友だちと仲良く」「人の気持ちを大切に
にする」では、 9 6 %の児童がプラスの評価をしており、
前期に比べプラス評価が増加しています。特に、「登下校の
安全に気をつける」の項目では、 9 7 %の児童がプラスの
評価でした。

「友だちと仲良く」では、 7 7 %の子どもが A 評価と最
も高く、前期に比べて 1 7 ポイント A 評価が増加していま
した。また、児童・保護者ともに 9 6 パーセントがプラス
の評価でした。このことから、前期に比べて学級集団とし
てのまとまりができ、友だちと仲良くしていこうとする意
識が高まってきたことがわかります。

しかし、「自分の考えを発表する」の項目ではプラス評価
が 7 4 %と最も低く、「進んで学習する」「ほめられる」の
項目で A 評価が 3 6 %と最も低いことから、前期に引き続
き学習意欲・自尊感情について課題が見られました。次年
度に向けて、さらなる授業改善を積み重ねていきたいと思
います。

「人の気持ちを大切ににする」では、 9 6 %の児童がプ
ラスの評価をしており、前期に比べて 7 ポイント増加してい
る一方で、「言葉づかい」の項目で、 8 8 %の児童がプラス
の評価をしているものの、保護者アンケートでは A 評価が
1 2 %と最も低く、言葉づかいについての児童の認識が十
分育っていない結果となりました。日常の言葉づかいを再
度見直すとともに、 T P O に応じた言葉の使い方を身に付
けるよう取り組む必要性を感じます。

「読書」については、学校運営協議会や P T A の協力に
より開館時間を増やしたことから、昨年 に 比べて図書館に
来館する児童が多くなり、図書館を利用する機会が増えま
した。来年度は、図書館活用の幅を広げる取組をすすめ、
言語活動の充実を図っていききたいと考えています。

「登下校の安全」は、前期同様に A 評価の割合が高く、
日常的な声かけや安全指導、 P T A ・地域の方々によるパ
トロール活動などにより、安全に気をつけて行動しよう
という意識が定着しているようです。

地域女性会や外部講師の協力による 4 年生茶道体験や琴
部の発表会、またパパサポ主催の和楽器体験や生け花教室
等、伝統文化に触れる機会を多く持つことができました。

平成 2 5 年度後期学校評価の結果をお知らせします

